

9 / 5 (火) の行事

【道庁プレスリリース】

報道発表資料の配付日時 8月9日(水) 15時00分

発表項目 (行事名)	北海道スポーツ医・科学コンソーシアムスタート記念シンポジウム 「北海道のスポーツと医・科学の未来」の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>冬季競技の年代別トップアスリートや、道内各地域に潜在する高い競技能力を持つ部活動アスリートに焦点をあてたスポーツ医・科学支援体制を構築し、競技力の向上を目指すことを目的として、令和5年7月19日に、(公財)北海道スポーツ協会、北海道、札幌市及び札幌医科大学の4者が中核団体として連携し「北海道スポーツ医・科学コンソーシアム」を設立しました。この度、設立を記念して、次のとおりシンポジウムを開催します。</p> <p>○日時 令和5年(2023年)9月5日(火) 18時～(1時間半を予定)</p> <p>○場所 京王プラザホテル札幌 地下1階プラザホール (札幌市中央区北5条西7丁目2-1)</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「スポーツ医・科学が目指すこれからの役割～ハイパフォーマンスからライフパフォーマンスへ～」 北海道スポーツ医・科学コンソーシアム 運営委員会委員長 札幌医科大学理事・保健医療学部長 片寄 正樹 氏</li> <li>・対談「北海道のスポーツと医・科学の未来について」 ゲスト：長野五輪金メダリスト、株式会社 two. seven 代表取締役 清水 宏保 氏</li> </ul> <p>聞き手：北海道スポーツ医・科学コンソーシアム 専門委員会委員 札幌医科大学附属病院スポーツ医学センター長 渡邊 耕太 氏</p> <p>○主催 北海道、北海道スポーツみらい会議 ○共催 北海道スポーツ医・科学コンソーシアム ○参加費 無料 ○申込み どなたでもご参加できます。参加ご希望の方は8月31日(木)までに別添リーフレット掲載のQRコードからお申し込みください。 ※詳しくは別添リーフレットをご参照願います。</p>		
参 考			

報道(取材)に当たってのお願い	多くの道民の皆様にご参加いただけますよう、積極的な報道をよろしくお願ひします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担 当 (連絡先)	環境生活部スポーツ局スポーツ振興課 課長補佐 柏木 邦子 電話(ダイヤルイン)：011-204-5209(内線24-413) 公用携帯：011-585-6103(30644)		
--------------	---	--	--

主催 北海道×北海道スポーツみらい会議  
共催 北海道スポーツ医・科学コンソーシアム



北海道スポーツ医・科学コンソーシアム  
スタート記念シンポジウム

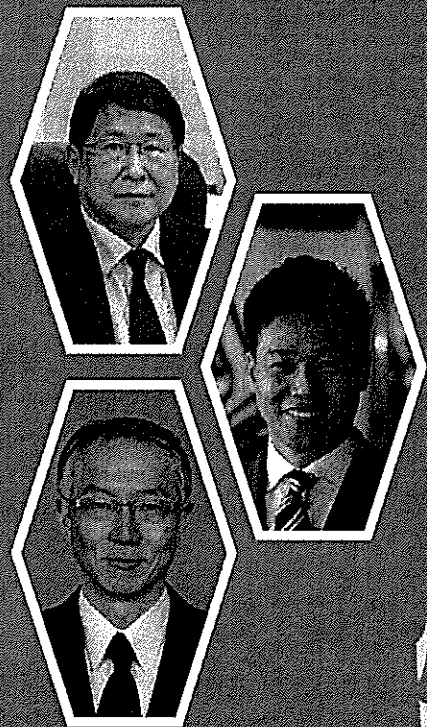
# 北海道のスポーツと 医・科学の未来

## 講演

スポーツ医・科学が目指すこれからの役割  
～ ハイパフォーマンスからライフパフォーマンスへ～

北海道スポーツ医・科学コンソーシアム  
運営委員会委員長

片寄 正樹 氏 (札幌医科大学保健医療学部長)



## 対談

北海道のスポーツと医・科学の未来について

ゲスト : 長野五輪 男子スピードスケート金メダリスト  
清水 宏保 氏  
(株式会社two.seven代表取締役)

聞き手 : 北海道スポーツ医・科学コンソーシアム専門委員会委員

渡邊 耕太 氏 (札幌医科大学附属病院スポーツ医学センター長)

お申込は  
こちら!



令和5年(2023年)9月5日(火) 18時開演  
京王プラザホテル札幌 地下1階プラザホール  
(札幌市中央区北5条西7丁目2-1)

参加は無料です。参加ご希望の方は、  
8月31日(木)までにQRコードからお申し込みください。

【お問い合わせ】北海道環境生活部スポーツ局スポーツ振興課スポーツ振興係  
Tel:011-204-5209 Mail:kansei.sports@pref.hokkaido.lg.jp

# 講演者プロフィール

## 清水 宏保

長野五輪 男子スピードスケート金メダリスト  
株式会社two.seven代表取締役

1974年2月27日、北海道帯広市生まれ。  
スピードスケート日本代表として、1998年の長野オリンピックに出場し、男子500メートルで日本のスピードスケート選手として初の金メダル、1000mでも銅メダルを獲得。また、2002年ソルトレークシティーオリンピックでは、男子500メートルで銀メダルを獲得した。  
2010年3月に現役引退後、日本大学大学院医療経営学修士課程、弘前大学大学院社会医学講座博士課程修了。  
現在、(株)two.seven代表取締役として、利用者の方々のヘルスケアを全面的にサポート・提案するために、介護事業とフィットネス事業を中心に手がけている。



## 片寄 正樹

札幌医科大学 理事・保健医療学部長  
元 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会  
医療サービス部 選手村医療担当課長  
北海道スポーツ医・科学コンソーシアム 運営委員会委員長

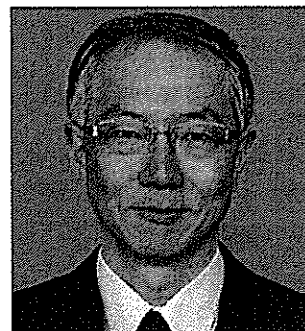
札幌医科大学衛生短期大学部を経て、1999年カナダアルバータ大学大学院理学療法学修士課程修了。2007年札幌医科大学教授に就任、2022年4月から現職。専門分野はスポーツ理学療法や運動器障害理学療法、スポーツ医学。東京オリンピック・パラリンピックでは選手村診療所の運営にあたったほか、令和4年度にはスポーツ庁「地域におけるスポーツ医・科学支援の在り方に関する検討会議」委員を務めている。



## 渡邊 耕太

札幌医科大学 保健医療学部理学療法学科 教授  
附属病院スポーツ医学センター長  
日本スケート連盟医事委員 全日本スキー連盟情報・医・科学部副委員長  
元 日本オリンピック委員会医学サポート部員

札幌医科大学医学部卒業後、附属病院等を経て、2014年札幌医科大学教授に就任、2022年4月から現職。専門分野は足部・足関節外科、膝関節外科、スポーツ医学など。バンクーバー、ソチ、ピョンチャン、そして北京と、4大会連続で冬季五輪選手団の本部ドクターに就任するなど、長年にわたりスポーツ医学活動に携わっている。また、清水宏保氏の現役時代にはメディカルサポートを担当。



### 【北海道スポーツ医・科学コンソーシアムとは…】

冬季競技の年代別トップアスリートや、道内各地域に潜在する高い競技能力を持つ部活動アスリートに焦点をあてたスポーツ医・科学支援体制を構築し、競技力の向上を目指すことを目的として、令和5年7月19日に、(公財)北海道スポーツ協会、北海道、札幌市及び札幌医科大学の4者がコンソーシアムの中核団体として連携し設立しました。今後、スポーツ関係団体、道内大学、医療機関、行政等にご参加いただき、オール北海道で地域のアスリート等へ支援を行う体制づくりを進めてまいります。